

■ 教育目標「学び合い 高め合い ともに伸びる子」



佐渡市立七浦小学校

学校だより

令和2年10月30日発行  
学校だよりNo. 8

佐渡市立七浦小学校  
佐渡市稲鯨1312番地

Tel: 0259-76-2322

Fax: 0259-61-4955

mail: nanaura-es@sado.ed.jp

♪ 令和2年度より七浦小学校はコミュニティ・スクールとなりました♪

## やはりライブは最高です！

校長 山口 明美

日没が早くなったこの頃、校長室の窓から海に沈む夕陽を眺めるのが楽しみです。国仲育ちの私は、朝陽も夕陽も山から昇って山に沈む光景しか見てきませんでした。七浦地区の方には海に沈む夕陽は当たり前の光景かもしれませんが、私にはとても新鮮な光景です。普段の学校生活の中でも、本当は当たり前ではなくとてもすごいことを、子どもたちは当たり前のように行っているのではないのでしょうか。そんな気がします。

2学期は、「できない」ではなく「どうやったらできるのか」という観点に立ち、学習や行事に取り組んでいます。マラソン記録会や運動会の徒競走の出発前のドキドキ、負けて流した悔し涙、気持ちを一つにしての応援、相手を称えるために送った拍手は、豊かな心を耕す糧となったことでしょう。また、末は画伯か！と思えるような絵画の力作、発想豊かな工作の数々を見る時、その作品と向き合った貴重な時間の長ささに思いを寄せてほしいと思いました。

10月13日、1～4年生は秋の体験学習でした。行き先は、太鼓体験交流館。自分で太鼓を叩いた時の音や体に伝わる振動は、実際に叩いてみないと伝わりません。また、鼓童のプレイヤーの方の叩く腹に響く音や叩く姿は、驚きと感動の一言でした。文化祭の数日前には、5、6年生が発表する合奏を聴かせてもらいました。一つ一つの楽器の音がしっかりと聴こえ、息の合った演奏に思わず目頭が熱くなりました。やはり生の演奏（ライブ）はいいものです。

まだ、駆け出しの教員の頃、「教育書を読んで学ぶだけでは一人前の教師にはなれない。実際の授業を見て学びなさい。」と先輩から教えられました。自分の目で見て、学んだ著名な方々の授業は今でも覚えています。その頃は、実際の授業を見ることをライブと呼んでいました。ライブでたくさん学ばせてもらいました。当校でも、先生方は互いの授業の進め方について研修し腕を磨いています。やはり、ライブはいいものです。

ポスト・コロナの学校を考える時、オンライン授業が注目を集めています。ICTを活用した学習の環境整備も進められています。と同時に、友達や先生と話し合いながら課題を解決していく学習、地域に出向き地域の人、ものに触れる活動も大切にしたいものです。そのような意味でも、今年の文化祭のステージは素晴らしい発表の数々でした。七浦地区の良さを肌で感じる事ができました。出演して下さった皆様には、感謝の言葉しかありません。ありがとうございました。やはり、ライブはいいものです！